

内膳町自治会通信

《第2号》

自治会広報係
発行責任者 堀本文男
平成22年3月発行

自治会が目指すもの

初めに

一月に実施しました地縁団体構成員加入登録にご協力を頂きありがとうございます。

最近では全国的な傾向として、自治会への加入率は減少しているようです。自治会の指導力や説得力不足、啓蒙の足りないことなどが要因かも知れません。

今年には内膳町自治会が榎原市長より地縁団体の認可を受けて十年になります。十周年という区切りの年度に際し、今一度、地縁団体設立の起点に立ち戻り、自治会の役割・目指す方向について記します。

地縁団体の設立

平成十一年、当時の自治会、内膳町が所有する共有財産を、安全・確実に継承し、また、適正に運用するために、自治会を地縁団体とする法人格を持つ団体にするのが最善であると決議し、そして、平成十一年十二月三日付で会報を配布、その文中で住民に地縁団体組織に変更することの必要性を、呼びかけました。

その後、約一年をかけて諸準備を整え、平成十二年十二月初旬に、平成十二年十二月八日付・設立総会が報じられた。奈良新聞社会面

貴重な財産、確実に継承

地縁団体設立へ



地縁団体の法人化

自治会・町内会などでは、団体名で不動産登記が出来なかつたため、代表者の個人名などで登記を行っていました。しかし、こうした個人名義の登記は、名義人の転居や死亡などにより自治会の構成員でなくなつた場合に、名義変更や相続など財産上の問題を

月七日・すみれホールにおいて「地縁団体設立総会」を開催するに至りました。当日の模様は翌日の奈良新聞に掲載されました。その一面の一部を紹介いたします。

「内膳町自治会は七日、同町の集会所で地縁団体の設立総会を開いた。地縁団体は権利能力のない社団に法人格を与える制度で、自治会名義の不動産登録が可能になる。中略」同町の住民約230人が参加のうち、約190人が参加を申し込んでいた。

※別掲 地縁団体の法人化設立時の80%を超える加入率は、自治会に対する大きな期待感がうかがえます。

、一方運営面では、特定な執行部活動の弊害が発生し平成二十一年六月の総会で糾弾され全役員退陣、現執行部が誕生した次第です。

働にも改革が進められており、今尚途次であり、引き続き絶大なご協力を頂き、次世代に悔いの無い引き継ぎを致したいものであります。

生じていました。

こうした問題に対処するため、平成3年4月2日公布施行の地方自治法の一部が改正され、地区会など地縁の団体で一定の要件に該当する場合は、市長の認可があれば「法人格」を取得できるようになり団体での不動産登記が出来るようになりました。

総会後日、榎原市長より地縁団体の認可を受けた自治会は、それにより、団体として共有財産を所有することになり今日に至っています。

自治会の役割と指針

現在、自治会運営は会費を徴収することなく共有財産から得られる収入で行われている。当然、その使途については、公正さが求められ、同時に、住民の理解を得られなければならない。

自治会の本来の役割は、行政の手の届かない身近な問題や課題（防犯、防災、交通安全、子供の育成など）を、地域が連携して共同で解決していくことであり、貴重な共有財産はそれを実現するために使われるべきです。

自治会活動を通じて地域のいろんなことを知り、住民同志がコミュニケーションを深めていくことで、顔なじみが広がります。そして、その顔なじみが、連帯感を育み、いざというときに、結束力を生みだす。そのような町づくりが自治会づくりが目標です。地域の住民から「入る必要が入つてよかつた」と言われるような自治会になることを目指します。

自治会広報係

皆様の参加をお待ちしています。

模擬店

桜まつり

◇とき◇
3月28日(日)※小雨決行
◇ところ◇
さくら公園

時間 午前10時～午後2時
参加費 200円(予め参加券購入のこと)
締め切り 3月23日(火)
販売所 すみれホール・自治委員宅

3月25日(木)～4月10日(土)まで
飛鳥川堤で提灯を点灯します。
(午後9時頃まで)



▽模擬店の内容

スマートフォン・タブレット・当物
焼きそば・フランクフルト
ジュース・ポップコーン
(午前10時～午後2時)
ビンゴゲーム 午前・午後各一回

品物の引き換えは午前10時～午後1時までにお願ひします。
※諸般の事情で内容の変更あり

主催 地縁団体内膳町自治会
協力 内膳町自治委員
善寿会

内膳町婦人会
内膳地区民生児童委員

平素は自治会運営にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

「共有財産を守るには、従来の自治会組織を地縁団体という法人格にする事が必要」と平成十一年十二月三日付の会報で提唱し、以後約一年をかけて住民に説得を続けるとともに、協力を呼びかけ、平成十二年十二月七日「地縁団体

中南和の観光拠点

檀原観光交流センター建設始まる

檀原市の観光拠点として檀原市観光交流センターの建設が、十二月議会で予算承認が行われ、近鉄大和八木駅南側（内膳町一丁目）で始まりました。建設計画によると、敷地面積：628、011㎡、建築面積：403、064㎡、延床面積：1762、64㎡、主要用途：1階は観光振興エリア（観光案内・観光展示・観光トイレ）、2階は観光エ

リア（観光協会事務室・イベントスペース）、3階は子育てエリア（子供の一時預かり）、4階は相談エリア・男女共同参画エリア、5階は市民協働エリアなどの市民ニーズに応え、NPO交流等の市民活動にも利用する方針です。檀原市は、観光都市檀原を標榜しており、中南和の観光拠点、関西国際空港の奈良県交流センター建設は意義があり、今後、檀原市の観光ルートの設営、檀原市近隣の市町村の観光案内、支援等の拠点として期待されています。

中南和の観光の拠点として期待される
観光交流センター完成予想図



また、檀原市・桜井市・明日香村での世界遺産暫定登録から世界遺産登録の設定取得に注力しており、この観光交流センターの果たす役割・期待は内外共に大きい。工費は約4億9300万円、工期終了は平成二十二年十二月末、オープンは平成二十三年四月予定。

十月に秋祭り実施案

地域の親睦と子どもたちの思いづくりとして“秋祭り”の実施が検討されています。桜まつりの秋季版ともいえ、さくら公園でのイベントを中心とした催しになる予定です。

八木駅南整備事業最終章に！

八木駅南側地域の整備事業は、昭和六十二年十一月建設省（当時）より奈良県で初めての一沿道区画整理型街路事業として基本計画の承認を受け、更に、昭和六十三年二月奈良県知事より土地区画整理事業認可を受け、工事が着工されました。以来二十年以上かかり、街路及び区画整理工事が完成に至り、二〇〇八年九月に供用されました。

賑わいのある拠点になります。この工事に伴い、現在、南側のバス、タクシー乗場には雨覆がありますが、その雨覆は駅に接続していない歪な状態です。今回の工事の中には歪な状態解消のために、駅より雨に濡れない様に雨覆の接続工事がなされます。工費は約十五億円執行。

明るくなりました第一集会所

照明が暗いと、利用者から苦情の多かった第一集会所一階・小部屋（洋間）の照明器具を取り替えました。十名、十五名程度の会合や趣味の集いには是非ご利用ください。料金は千円です。なお使用目的によつては（営業・カラオケなど）ご利用をお断りする場合があります。申し込み・すみれホールまで

電話 0744（21）0505

駐車場完成

1F西側ゲート



4F自動車駐車場

自主防災設立総会開催

「自分たちの家族や町は、自分たちで守る！」をスローガンに準備が進められてきた内膳町自主防災会設立総会が、一月二十四日（日）すみれホールで（主催・内膳町防災準備委員会）行われました。原案どおり規約、事業計画等の各議案が承認され、当日付けで自主防災会がスタートしました。四月に定期総会が開催され、二十二年度（四月～翌年三月）の役員が決められます。

直前の一月十二日に南米ハイチで発生した大地震の惨状が日々報道されている最中であつた事も、防災に対する意識を高めたのか、多数の住民が出席しての設立総会となりました。

善寿会（老人会）へのお誘い

善寿会（会長・廣嶋勝雄・三月一日現在会員数85名）では、新規加入者を募集しています。（入会資格は六十歳以上の方）

主な活動は、講師を招いての講演会（健康・防犯等）カラオケ・グラウンドゴルフ・ビデオ鑑賞（映画）です。今後、会合やイベントを通して親睦を深め、心の触れ合える高齢者サークルを目指します。貴方の豊富な人生体験を善寿会で発揮して下さい。お申し込み、お問い合わせは0744（23）3473 廣嶋宅まで